

# 議会だより

伊那市議会事務局

TEL 0265-96-8149  
FAX 0265-76-9117  
E-mail: gk@inacity.jp

Vol. 32

## 6月定例会市議会の報告

- ・今定例会に上程された議案の一部を紹介します
- ・6月定例会市議会一般質問から

**特集** 市民と議会との意見交換会を開催します  
道路・交通対策特別委員会の活動報告

伊那市議会6月定例会は6月1日から6月25日までの会期で開かれ、初日に3議案と請願・陳情7件、5日目(最終日)に2議案と議員提出5議案が提案され審議を行いました。

### 今定例会に上程された議案の一部を紹介します

#### (一般案件)

##### ◆市道路線の変更について

西春近沢渡区柳沢の市道柳沢7号線の認定区間を延長するものです。

結果 可決(全会一致)

##### ◆民事調停の申立について

春富中学校武道場の屋根の音鳴りについて学校環境衛生基準の規定を超えないよう措置することを求める調停を申し立てるものです。

結果 可決(賛成多数)賛成19 反対1

#### (条例案件)

##### ◆伊那市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法の一部改正により、この法律の条番号にずれが生じたことに伴い、条例の改正を行うものです。

結果 可決(全会一致)

#### (予算案件)

##### ◆平成27年度伊那市一般会計第2回補正予算について

歳入歳出それぞれ一億八、七九〇万円を追加し、総額を三三三億七、二二〇万円とするものです。

国や県の助成を受けて行う事業などについての補正で、主な内容は次のとおりです。

- ・畜産クラスター関連事業(畜産施設整備補助) 九、一八八万円
- ・介護保険施設整備事業 三、六四六万二千元
- ・伊那公民館太陽光発電設備設置 二、九三七万円
- ・地域振興開発基金積立金 八二七万円
- ・コミュニティ助成事業 七五〇万円
- ・地域防災組織育成助成事業 三九〇万円
- ・伊那市有害鳥獣対策協議会負担金 三二五万九千元

結果 可決(全会一致)

##### ◆平成27年度伊那市一般会計第3回補正予算について

歳入歳出それぞれ六四〇万円を追加し、総額を三三三億七、八六〇万円とするものです。

補正の内容は以下のとおりです。

- ・新鷹岩トンネル工事負担金等 六四〇万円

#### (請願・陳情)

##### ◆上伊那広域消防緊急車両へのドライブレコーダー導入を求める陳情

結果 趣旨採択(全会一致)

##### ◆年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の提出を求める請願

結果 採択(全会一致)

##### ◆安全保障関連法案を撤回し、憲法

の遵守と平和外交の推進へ意見書の提出を求める陳情

結果不採択(賛成少数)賛成6 反対14

##### ◆地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める請願

結果 採択(全会一致)

##### ◆「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願

結果 採択(全会一致)

##### ◆国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願

結果 採択(全会一致)

##### ◆「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」の提出についての陳情

結果 採択(賛成多数)賛成15 反対5

#### (議員提出議案)

##### ◆年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の提出について

結果 可決(全会一致)

##### ◆地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書の提出について

結果 可決(全会一致)

##### ◆「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書の提出について

結果 可決(全会一致)

##### ◆国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書の提出について

結果 可決(全会一致)

##### ◆安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書の提出について

結果 可決(賛成多数)賛成17 反対3

伊那市ホームページでは、「会議録検索システム」を掲載しています。このシステムは、議会定例会で行われた過去の議案審議や一般質問など、検索したい言葉や発言者などから、簡単に検索・閲覧することができます。是非ご利用ください。

伊那市 会議録検索

# 6月定例市議会 一般質問から

伊那市議会6月定例会の一般質問は、一問一答方式の対面式により、6月12日、15日、16日の3日間にわたって行われ18人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。



八木 眞真

**問** 国道153号バイパス・小黒川スマートインター完成に向けて、周辺の開発を適正に進めるためのビジョン作りを

**答** 八木 眞真議員 国道153号バイパス、小黒川スマートインター整備で、周辺で無秩序な開発が進む可能性がある。既存の商業地域や住宅街の空洞化や、伊那らしい景観が害される等の問題が予想される。

**答** 市長 周辺地域に景観形成住民協定の締結を促す等、地元と連携して無秩序な開発を防ぎたい。

**問** 大型商業施設やチェーン店の相次ぐ出店について

**問** 八木 眞真議員 大型商業施設やチェーン店の相次ぐ出店は既存店舗や街の個性の衰退につながる。一定の規制が必要では。

**答** 市長 現行法では規制できないのが現状。市の指導要綱に基づき、出店事前協議で既存店との調和や地域貢献等を指導していきたい。

**問** 八木 眞真議員 外部資本の量販店等でお金を使うと、伊那市民が稼いだお金が地域の外に流れる結果になる。地域の中でお金を循環させるためには、地元資本の商業施設や地域住民による個人店を応援する意識が市民の間で必要だ。私も地元の店を応援する活動を進める。市長もその意義

の発信を。

**答** 市長 地産地消等、地元でお金が回る経済のあり方を広げていきたい。



飯島 尚幸

**問** 空き家対策について

**問** 飯島 尚幸議員 ①高遠町、長谷地域を対象に行っている空き家バンク制度の実態は。伊那地区を含め市内全域からバンク登録できるように拡大する考えは。②新規就農希望者へ「家・農地」をセットにした空き家の情報、支援策が望まれるが。

**答** 市長 ①高遠町、長谷地域以外の空き家を求めるニーズも当然ある。良質な物件を眠ったままにしておくのは、人口増を考える上からもマイナス。市全体への拡大を図るべく地元不動産組合との協議を進める。人口増対策は、同一の経済圏単位で取り組むのが望ましく、空き家バンク制度について近隣市町村に連携を呼びか

け、早期に協議を始めた。②家と農地がありながら事情で住まわなくなったケースはある。市民から情報の積極提供を求めたい。

**問** 食品ロス問題について

**問** 飯島 尚幸議員 ごみ減量化のためにも、食べ残しを少なくし、「もったいない精神」を市民共通の意識に盛り上げるべく、試案として「食べ残しゼロ推進店舗の認定制度」の創設を提案するが。

**答** 市長 飲食店などでは食材の使いきり等努力していると思うが、ごみ減量化に向け市として出来ることを多角的に考えたい。



唐澤 千明

**問** 広域観光における伊那市の取り組みについて

**答** 唐澤 千明議員 ①広域観光の振興を目指すのに、上伊那8市町村での日頃の観光担当者での意見交換が必

要だが。②観光協会の法人化に向けて自立化を図るのに、外部からのコンサルか仕掛け人を招くことも必要だが。③ローメンや信州そばなどを活用したまちおこしイベントへの、行政の積極的な参加を望むが。

**答** 市長 ①今後も上伊那観光連盟において8市町村及び関係機関との連携を強化していきたい。②当面、会員自らの積極的な活動展開を図っていく。必要に応じてコンサルへの委託や専門職員の配置も検討する。③まちおこしイベントは伊那市観光のPRにつながり行政の求める方向と一致する。自主完結を基本に、一所懸命頑張る取り組みは応援したい。

**問** 学校給食施設整備計画の取組について

**問** 唐澤 千明議員 個々の施設整備工程表を基に給食提供を基本として、工期の前後は年度途中でも給食提供するように配慮して欲しいが考えを。

**答** 教育委員長 給食施設には年度単位で任用する非常勤職員給食技師を配置しており、年度途中の配置換えや数か月単位の任用は困難。給食



休止中に弁当を委託する業者も年度途中の対応は難しい。



柳川広美

市街化区域の土地改良区  
用水路・排水路について

柳川広美議員 市街化

区域では農地が減り農家の負担が増えている。冷田川・古川・小三峰川の改修予算を増やすべき。用途地域の地元負担は減らすべき。農振地域も地元負担2割にするべき。

市長 古川・小三峰川で

300万。農業用排水路は緊急性・重要性の高い所から改修している。明らかに道路が原因で水路が傷んだ時には地元負担はない対応をしている。農林部長 できるだけ地元負担が少なくなるように取り組んでいきたい。

世界中で随時「戦地」での他国軍支援ができるようにする「国際平和支援法案」と、日本が攻撃されていない場合にも集団的自衛権を行使できるようにする「平和安全法整備法案」の二本からなる戦争法案について

柳川広美議員 海外での武力行使を可能にする安全保障関連法案「戦争法案」についてどう考えるか。旧陸軍伊那飛行場を県文化財に。戦争遺品や手記の募集を。

市長 様々な意見がある。世論調査でも慎重審議をといてう声が多い。時間をかけて慎重な審議を行い、結論が出るのが望ましい。

教育長 飛行場跡については、文化財指定も含め調査を進めたい。戦争関連資料収集や創造館等での企画展示、記録保存に取り組んでいく。



前澤啓子

学校給食における食の安全。西箕輪  
小中学校の給食外部委託を中心に

前澤啓子議員 ①現給食室を使いながら建て替える空き地があるのにPTAにも諮らずに外部委託を決定した理由は。②契約書には国内産を使うこととされているが、食

材に食品添加物や中国産冷凍食品が多数使われている。サツ

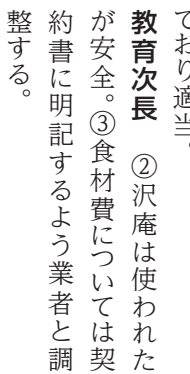
カリンやソルビン酸入りの沢庵は実際に使われたのか。契約違反ではないのか。③保護者から集めた給食費を全額食材に使うという記載がないが、他の学校と比べて合理性に欠けるのでは。

④一社応札で決定しているが競争性は保たれたのか。⑤保冷車の確保や異物混入はどうか。

教育委員長 ①以前にも外部委託の実績があり適当。PTA役員には昨年7月学校を通して伝えた。②やむを得ない場合には外国産も可とされており適当。④二社が辞退、一社が欠席で一社が応札しており適当。

教育次長 ②沢庵は使われたが安全。③食材費については契約書に明記するよう業者と調整する。

教育長 ⑤保冷車は完備している。異物混入はあったがその都度適切に対応している。



黒河内浩

南アルプス・ユネスコ・エコパーク「ジオパーク」の活用と事業の具体化について

黒河内浩議員 南アルプス・ユネスコ・エコパーク、ジオパーク事業の取組みが足りない。積極的な対応が必要だ。

市長 再認定の審査があり、幅広い活動の実績を積み上げていく必要がある。分杭峠の整備や鹿嶺から入笠にかけての高原の活用を進め、地域活性化に結び付けていく。

黒河内浩議員 遭対協に対する人的・物的支援を積極的に行うべきだ。

市長 隊員の大部分が市職員であり、実動部隊整備に向けて見直しをかけていく。

消防団の整備統合に伴う後処理について

黒河内浩議員 消防団の再編に伴う施設の整理は市が予算化して実施すべきだ。

市長 補助金を活用し、市が実施する。

中国・通州区との友好都市の今後について

黒河内浩議員 中国通州区の訪問受入れ事業について補正予算で100万円の

市長 補助金を活用し、市が実施する。

伊那市の豊かな自然を活用した教育の推進に関わって

野口輝雄議員 伊那市の自然に学ぶ活動を推進するために市内の自然豊かな場所に自然観察の教育拠点を築いたらどうか。

市長 学習エリアを一定の地域に整備する考えには共鳴する。伊那市は自然豊かで地域ごとにいろいろな体験ができる。創造館の活動を中核に自然観察の教育拠点について前向きに考えたい。



野口輝雄

伊那市の豊かな自然を活用した教育の推進に関わって

野口輝雄議員 かつて市の主催で行ってきた「せせらぎウォッチング」の来年度からの復活を望んでいる。

市長 保育園や学校、育成会での川遊びや地球の

学校の活動、ジオパーク・エコ

学校の活動、ジオパーク・エコ

学校の活動、ジオパーク・エコ

パークの活動が、せせらぎウオッチングの精神を引き継いでいる。

### 小型無人機「ドローン」の伊那市における規制と活用及び子ども達への指導についての提案

**問** 野口輝雄議員 伊那市におけるドローンの規制と活用及び子ども達へのモラル教育の必要性があるのでは。

**答** 市長 人が多く集まる場所では自粛を求めます。シカ対策や災害対応の面などでの活用を検討する。

**教育長** 教育場面でも安全指導と有効活用の両面を考慮していきたい。



平岩國幸

### 合併十年後の総合支所のあり方について

**問** 平岩國幸議員 合併して十年になる。今後の総合支所のあり方はどうなるのか。

**答** 市長 本庁・支所の業務の見直しや各部署の業務量など確認し、議会や地域協議会に示したうえで十月頃には成案としてまとめたい。

要と思うが、市長の考えは。

**問** 平岩國幸議員 合併十年を迎え記念事業は必要と考えるが、市長の考えは。

**答** 市長 合併十年を記念し市民憲章の策定を始めています。合併十年にふさわしい新規事業を考え、式典についても今後検討したい。

### 人口減少に伴う保育園の運営方針について

**問** 平岩國幸議員 高遠第2・第3保育園は過疎地の特殊な環境にあり存続が必要である。休園の判断基準の見直しは出来ないか。

**答** 市長 過疎地の中で特徴を生かした保育園であり、移住定住者の増えることを期待している。定員や判断基準の見直しは考えていない。

**問** 平岩國幸議員 高遠第1・第4保育園は平成28年に第1保育園に統合することとなっている。地域や保護者からは統合にあたって幾つかの要望が出されており、中でも移転新築の希望が強い。市長はどのような考えか。

確保と新築はセットという考えもあるので相談して行きたい。



白鳥敏明

### 国道361号(高遠線)と三峰川右岸道路(ナイスロード)との連絡道路の整備について

**問** 白鳥敏明議員 新ごみ中間処理施設の竣工に向け周辺道路の整備が必要。県道西伊那線の拡幅整備を。

**答** 市長 三峰川橋右岸から上大島までの約300メートルについては平成26年度に測量・予備設計を終えているが、事業実施は他の県道整備箇所と調整し県へ要望していきたい。周辺道路の整備については、交通安全対策に万全を期し、新ごみ中間処理施設の稼働後の状況を見ながら対応して行く。

**問** 白鳥敏明議員 市道日影沢線の未拡幅部分の改良と、延伸などの計画は。

現時点では拡幅・延伸の計画はない。国道153号伊那バイパスの工事進捗をみながら、周辺道路の整備は考えて行きたい。

**問** 白鳥敏明議員 国道361号と三峰川右岸道路との連絡道路として、美簾上川手区と下県区の境を通る、市道4282号の拡幅か、同路線西側への道路新設の検討は。

**答** 市長 道路新設は過去に検討した経緯はあったが、地元地区の反対の申入れを受け中止となった。道路整備は市幹線道路網整備計画のアクションプランに基づき進めているが、この周辺で現時点では道路新設や拡幅の計画はない。環状南線や小黒川スマートインターチェンジ設置などの市内幹線道路の整備状況をみながら検討してみたい。

**問** 中山彰博議員 砂防事業の整備推進と進捗状況は。

**答** 市長 今年度全体で19カ所の事業を実施。事業費は約12億円。今後も継続的な事業展開を要望する。



中山彰博

### 国・森林管理署・県・市の三峰川上流域事業について

**問** 中山彰博議員 地域の活性化のためには今後

**問** ラジオ放送の難聴解消について

**問** 中山彰博議員 長谷、高遠地域の一部にNHK伊那局の受信困難な箇所がある。解消に努めてほしい。

**答** 市長 ラジオ放送をインターネットで同時配信するサービスについて情報提供すると共に課題として捉えていく。

**問** 合併10年を迎える伊那市について

**問** 中山彰博議員 地域の活性化のためには今後

2015.8 市報いな 25



も長谷、高遠町総合支所の  
存続は必須。現時点での方向  
性は。

**答** 市長 合併10年を迎え  
る来年度に、本庁を含め  
た組織体制を見直す予定。審  
議会の答申等を踏まえて方針  
をまとめ、地域協議会、議会に  
説明、協議の場を設ける。



橋爪重利

**● P・T・A等の活動助成  
について**

**問** 橋爪重利議員 新山小  
学校のP・T・Aは全戸が会  
員であり会費も負担している  
が、小人数での維持は困難。学  
校は校区が定められており校  
区内の教育は担当する学校で  
解決するのが原則。地区住民  
全員が会員であり、負担してい  
る活動費も児童を分け隔てな  
く支援している。このような小  
規模特認校制度は市全体で維  
持しなければならぬと考え、  
また小規模校は活動の基礎的  
な負担も大変であり、父兄の  
負担も大きい。等しく児童に

教育の場が与えられるよう市  
からの助成を。

**答** 市長 自主・独立性が必  
要。公費の助成は適切で  
ない。

**● 伊那市保育園整備  
計画について**

**問** 橋爪重利議員 整備計  
画中の「休廃園施設」  
は、入園率50%・園児数30人  
以下で、1校1園体制が存続  
できない施設にあつては当面  
休園（経過措置5年）とし、児  
童数の増加がなければ廃園、  
と定めている。高遠第2・第3  
保育園と長谷保育園について  
は、このボーダーラインにある  
が、地域の実情等を考え基準  
の再検討は。

**答** 市長 定員等の変更は  
その時点のみの対応。地  
元と地域の子供を増やす環境  
作りを考えていく。



若林敏明

**● 信州型自然保育認定に  
ついて**

**問** 若林敏明議員 子育て  
環境の素晴らしさを「信  
州ブランド」として発信し、移  
住促進につなげるのが県の「信  
州型自然保育認定」。この際、  
伊那のすべての保育園で認定  
を受けては。

**答** 市長 自然保育は心身  
を育み仲間を作り感性  
を磨く。伊那市は先進的に取  
り組んでおり、それを更に充実  
させ発信したい。保護者から要  
望のある高遠第2・第3保育園  
は申請した。

**● 止まらない松くい虫  
被害について**

**問** 若林敏明議員 松くい  
虫被害が止まらない。山  
火事に例えるならまさに先端  
は伊那にある。今こそ予算も人  
材も傾注投入すべき時だ。①  
昨年度約200本が予算不足  
を理由に未処理だった。手立て  
はあるはず。放置すれば拡大に  
繋がる。今後は柔軟な対応を。  
②市補助の嵩上げを市全域に  
拡大を。③樹種転換には松茸  
に類似した柂茸の柂茸を研  
究してはどうか。④そもそも担  
当職員が一人では無理だ。

**答** 市長 市の財政状況は、  
合併当時に比べて、急速  
に好転している。「財政健全化  
プログラム」に沿って、収納率の  
向上、市税の見直し、有利な補  
助事業の獲得、ふるさと納税の  
推進、不要資産の売却などを  
進めた。間接的には、企業誘  
致、企業支援、定住促進による  
生産人口の増加による税収  
増。さらに、観光産業、農業、林  
業の振興によって歳入を確保  
したい。歳入に見合った財政運  
営、歳出の見直しを図りたい。



丸山徹一郎

**● 伊那市の財政状況を  
考える**

**問** 丸山徹一郎議員 厳し  
い財政状況の中で、市の  
財政をどのように健全化して  
いくか。

**答** 市長 市の財政状況は、  
合併当時に比べて、急速  
に好転している。「財政健全化  
プログラム」に沿って、収納率の  
向上、市税の見直し、有利な補  
助事業の獲得、ふるさと納税の  
推進、不要資産の売却などを  
進めた。間接的には、企業誘  
致、企業支援、定住促進による  
生産人口の増加による税収  
増。さらに、観光産業、農業、林  
業の振興によって歳入を確保  
したい。歳入に見合った財政運  
営、歳出の見直しを図りたい。

**問** 丸山徹一郎議員 市で  
行っている事務事業の中  
で、民間に委託、あるいは移管  
しても良いものもある。現状は  
どのようなになっているか。

**答** 市長 「事務事業の実  
施における公的関与の  
見直しに関する方針」に沿っ  
て、事務事業の委託あるいは民  
間移管を検討している。  
総務部長 市民窓口の一部事  
務、市営住宅の管理などを委  
託した。

**問** 丸山徹一郎議員 市の  
観光事業の中には、民間  
でもできるものもあるが。

**答** 市長 観光振興、誘客  
事業など緒についていたとこ  
ろ。現在も一部観光協会に移  
行したが、今後、ある程度軌道  
に乗ったところで、観光協会、  
民間に任せたい。



飯島光豊

**● 介護保険法改定におけ  
る要支援者サービス見  
直しへの対応について**

**問** 飯島光豊議員 ①平成29年4月から介護保険の要支援者1・2の方が介護

保険から外され、伊那市による事業者・NPO・ボランティア等による新総合事業に変えられる。今後の予定は。②市が介護報酬単価を切り下げることとはないか。③利用料の負担増になるか。④住民ボランティア等の確保の見通しは。⑤市に移行後も現在と同じサービス継続を。⑥移行後の市の予算規模は。⑦高すぎる介護保険料を軽減する考えは。

**答** 市長 ①8月に事業者説明会。10月に緩和基準による報酬単価を決定予定。②現行単価を上限に決定する。③当面は、現行以上の予算を確保できる見通し。④法定外繰入れによる軽減はできない。⑤負担はこれから決定する。⑥生活支援コーディネーターの配置等により対応したい。⑦利用者の負担軽減にもつながるため、緩和基準によるサービスを行っていく。

**個人情報流出で明らかになった危ないマイナンバー制度について**

**問** 飯島光豊議員 ①年金機構個人情報流出事件

からも10月の市民へのマイナンバーの番号通知は危ない。国に一旦中止、廃止を求める考えは。

**答** 市長 ①廃止を要望する考えはない。



**「信州そば発祥の地・伊那」のそば栽培について**

**問** 飯島進議員 伊那市は、そば栽培で県内トップクラス。作付けが減っている。生産者が意欲を持って栽培に取り組めるよう市独自の補助制度を。「長谷在来」等在来種による地域振興についての考えは。

**答** 市長 今年の作付け計画では平成25年並に回復し危機的状況とは考えていない。バランスの良い作付けをするため農業振興センターによる、とも補償交付単価見直しも必要に応じて検討したい。在来種栽培については、栽培

条件が整い、地域単位での合意形成が出来れば積極的に支援したい。

**「市民誰でも観光大使」について**

**問** 飯島進議員 小中学校、市職員、市民誰でも観光大使についての考えは。

**答** 教育委員長 郷土愛を育む教育として、総合学習の時間を利用して「地域を知る」学習を行っている。高遠小四年は、善光寺でチラシを配る予定。

**市長** 市職員の75・8%がPR名刺を使っている。市職員の中にはSNSなどを使いイベントや食の発信に努めている者もいる。シティープロモーションなどを使いPRしていきたい。



**学校給食について**

**問** 宮島良夫議員 学校給食の将来のあり方について

**答** 市長 単に食べることだけでなく、家に帰った後もバランスのとれた食生活を実現できるように、魅力ある学校給食を推進していく。

**教育次長** 学校給食整備計画に基づき、手良小学校、西春近南小学校については単独の調理場として整備していく。

**保育園のあり方について**

**問** 宮島良夫議員 高遠第2・第3保育園の存続について

**答** 市長 定員の変更については考えていない。是非高遠地域の皆さんで何とかしましょうと立ち上がりを作ったいただければ一緒になって市も考えていきたい。

**地方創生について**

**問** 宮島良夫議員 地方創生では色々な取り組みが必要。雇用を通じた地方公務員をはじめとした人材の確保は有効な手段である。市長の地方創生の考えは。

**答** 市長 地方創生、人口減に歯止めをかけるという大きな目標がある。業務量に応じた職員数の適正な管理は地方創生とは別の視点と考えている。行政効率を考えた行政運営を行っているので、職員の適材適所の配置は地方創生に結び付くと考えている。



**「出会いたい」その思い 応援します。「結婚活動支援隊」の創設を**

**問** 竹中則子議員 ①地域の世話役として婚活を見守り、相談に応じてくれる「結婚活動支援隊」の創設を。②「出会いサポートセンター」の成果と本年のイベント開催予定は。③企業・民間等への推進体制は。④オリジナル婚姻届に出生届を組み合わせてはどうか。⑤結婚相談事業の広域連携を。

**答** 市長 ①交際を始めた人たちの希望に応じ、結婚意識や、将来像等相談相



手となつていただける人材の配置について検討していきたい。②開設してから延べ成婚者数は72人、成婚率は12・1%となっており一定の成果があった。男女スキルアップ講座・地域資源や趣味を通じた出会いの機会を創出するため山コンなどを企画している。③企業訪問等により、新たな登録者の確保を図り企業を挙げての婚活支援体制の構築を推進したい。④結婚・子育てと切れ目のない支援を行っており、オリジナル出生届についても検討していきたい。⑤市町村の枠を超えた出会いの機会の場を設け、連携を図っていきたい。

**● 小学校の語学教育 外国語への取り組み**

**問** 竹中則子議員 外国語への取り組みについて。  
**答** 教育長 市内小学校全てで外国語活動を行っている。

**問** 竹中則子議員 今後市独自のカリキュラムを作成する考えは。  
**答** 教育長 現在は考えていないが、国の動向などを参考に研究していく。

を参考に研究していく。



**● 伊那市の観光について**

**問** 唐澤稔議員 観光等に使用される貸切バスの規制について対策は。  
**答** 市長 規制については、大きな打撃を受けている。この春から大幅にツアー料金が値上げになっている。助成については、県にも要請していく。

**問** 唐澤稔議員 御柱祭とのコラボによる掲出についての考えは。  
**答** 市長 御柱と桜の魅力のツアープラン等、諏訪市や茅野市と情報交換を始めており、連携していく。

**問** 唐澤稔議員 二次交通の確保による、増強についての見解は。  
**答** 市長 臨時列車など、JRとのコラボレーションを行う二次交通を定着させていく。

を参考に研究していく。



**問** 唐澤稔議員 パワースポット、分杭峠が20年目になるが、記念になる企画はあるか考えは。  
**答** 市長 現在、年間3万〜4万人と推移している。リピーターも多く、新しいお客様が来るために、20年目という節目は有効。実行委員会を立ち上げて、記念イベントを企画している。

**お知らせ**

**傍聴にお越しくください**

6月定例会市議会は、70名の方が傍聴されました。市議会は、どなたでも傍聴できますので、お気軽に傍聴にお越しくください。なお、団体で傍聴される場合は席に限りがありますので、あらかじめ議会事務局までご連絡ください。

**議会中継**

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。翌日には再放送も行っています。是非ご覧ください。チャンネルは次のとおり。

- デジタル 11チャンネル** STB(デジタルチューナー)でご覧になる場合は
- デジタル 511チャンネル**

次回9月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」9月号をご覧ください。

**公式フェイスブック**

伊那市議会では、公式フェイスブックを開設しています。是非ご覧ください。  
<http://www.facebook.com/inashigikai>

**請願・陳情**

請願・陳情は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日までに提出されたものを、その定例会で審査します。

提出された請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、採決します。

次回9月定例会審査の受付期限は、8月21日です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へ確認のうえご提出ください。)

**市議会議員は、年賀状・暑中見舞いを出すことができません。**

市議会議員は、公職選挙法の規定により市民の皆様へ年賀状や暑中見舞いなど、時候のあいさつ状を出すことができません。また、祭事や慶事等に寸志、差し入れ、お祝いなど寄附をすることも禁止されています。

# 道路交通対策特別委員会の活動報告

道路交通対策特別委員会は、5月12日に国道152号の市内区間を視察しました。国道152号は、上田市から茅野市を経て静岡県浜松市に至る一般国道で、全長約264km、市内区間は約38kmです。北から大門・杖突・分杭・地蔵・青崩と大きな峠があり、地蔵峠・青崩峠の2ヶ所で通行不能区間があります。別名秋葉街道とも言われ、中央構造線の谷を通る本国道は、その険しさゆえに人を引き付ける魅力もあります。高遠・長谷に暮らす人々の利便性の向上と観光資源開発の両面から、改良が期待されています。

荒町〜御堂垣外  
高遠町で、すれ違いが困難で狭隘な未改良区間は荒町と御堂垣外です。荒町区間は約300mで両側に住宅があり、拡幅が必要です。御堂垣外の区間は約250mで、湾曲しておりすれ違いが困難な為、拡幅及び線形の改良が必要です。  
居住者の安全と観桜期への対応の観点から、今後両地域の皆様の御協力を得て早期事業化を図りたい区間です。



栗田〜四日市場  
高遠町の栗田〜四日市場区間の改良工事は、平成23年度から総工事費約10億円で実施されており、平成29年度完成の予定です。約50%の工事が完了し、道路幅員は約10mで、車道2車線に片側歩道付きの道路の一部が完成していました。このバイパス道路整備が完成しますと、観桜期の渋滞が解消され、隣接するパターゴルフ場の利用促進や、当該地区の生活道路の安全性の確保も図られます。



市野瀬〜粟沢  
長谷の分杭峠からシヤトルバスから着場に至る中間地点の市野瀬〜粟沢は、特に狭隘で行き違いが困難な箇所であり、早期の改良が望まれます。



分杭峠  
近年、分杭峠の「気の里・ゼロ磁場」は、癒しや観光スポットとして市県外から多くの皆さんが訪れており、当地への道路整備は喫緊の課題です。中でも分杭峠の通年通行の確保策、長谷大曲から大鹿村女高までの狭隘で危険箇所の改良促進が強く求められています。主要地方道の駒ヶ根・長谷線を含めた分杭峠のトンネル化構想もあり、将来に向け観光・交通の安全充実に推進するためにも、早期の取り組みの必要性を再認識しました。



# 伊那市議会主催 市民と議会との意見交換会



伊那市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指して、市民と議会との意見交換会を3地区で1日ずつ開催します。ぜひあなたの声をお聞かせください。

※この写真は、過去に実施した意見交換会の模様です。

**意見交換を希望する分科会にご参加ください。**

**総務分科会**

テーマ

**伊那市の将来像について**

～合併10年を振り返り、これからの10年を考える～

**社会分科会**

テーマ

**子育て支援について**

～少子社会での子育てを考える～

**経済建設分科会**

テーマ

**あなたが考える地方創生**

～農林・商工・観光を元気に～

※内容は3地区とも共通です。分科会に分かれ、テーマに沿って意見交換を行います。

**意見交換会は、次の3地区で実施します。**

**8/18(火)**

**竜西地区**

会場

生涯学習センター  
「いなっせ」6階ホール

**8/19(水)**

**竜東地区**

会場

JA本所 3階  
「フラワーホール」

**8/21(金)**

**高遠町・長谷地区**

会場

高遠町総合福祉センター  
「やますそ」3階  
※駐車場は「文化センター」へ

お問い合わせ先

**伊那市議会事務局**

TEL.78-4111 (内線2812・2813)

※3地区とも19:00～21:00(開場18:30)です。(事前申し込み不要)